

市民文芸

短歌

阿南市文化祭秋季短歌大会選

佳作 忠魂碑祈る老女の背は丸し七十四年の戦後
は長く 小田 和子

佳作 できないが多かった日を振り返り還暦迎
えでできるに変えたい 水口 明美

佳作 井戸水に冷やししそめん遠き日の一家
団欒ひと夏の詩 湯浅かや子

佳作 愛らしき午後に目覚める米花蘭の次つぎ
咲くピンクの小花 矢野 道子

佳作 雲ゆらぎ見え隠れする山なみの峽のぼり
ゆき夕立あがる 倉橋壽満子

佳作 稲刈りを終えし翌朝顔洗う水の温度は秋
を知らせり 岡久 利永

佳作 秋暑く女流師範の流麗な恙なしやの文反
し読む 神原 常経

佳作 見渡せば伊島北部の野尾辺原辛苦を忍
ぶ米作り跡 東明 貴美

佳作 粥などは飽き五目寿司を食べたしと胃を
病む姑が今日はもの言う 金本ひろみ

佳作 木の幹を無我に鳴きつつ巡る蟬恋なしと
げる刹那あらんや 棚野 久子

俳句

阿南市俳句連合会選

落花舞う縄跳びの子ら子犬にも 繁木 良子

都心またコロナ重なる春の雪 竹谷 由美

花嵐心の迷い連れ行きて 佐野 峯子

三人の子持ちで茶髪新社員 鈴木 順子

ブランコの立ち漕ぎうれし春の風 芳田 悦子

駅毎に春風入れて一両車 宮繁ただし

けものめく筍の穴埋め戻す 阪牧 生子

一人漕ぐぶらんこ高くより高く 寿田 淳乃

天国に近き島なりマンゴー熟る 島 玲子

また寄るねと遺し友逝く春の宵 東條 明宏

川柳

阿南川柳会 田上鶴子選

ウイルスに罹りわやくちや円ドルも 橋本 征介

心中を見抜く主治医の聴診器 野村 敏子

美しい自然あふれるラブ阿南 佐藤つたえ

縁あって福を呼び込む星月夜 二階千代美

おこぼれのやと回つて来た人事 渡邊 浪漫

財布よりまずスマホと先に持ち 高木 旬笑

一般応募

一日の疲れ溢れる湯に溶ける 島尾美津子

あり余る時間不平が多くなる 武田 敏子

マドンナは遅れてもいい指定席 仁井 信子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

初夏雑詠

山雨霽来新緑鮮 折野 博子

紫藤躑躅轉清妍 山雨霽来たつて新緑鮮やかに

飛燕穿雲首夏天 紫藤 躑躅 転た清妍

飛燕穿雲首夏天 秋田已に整い 薫風爽やかに

阿波橋灣を望む 飛燕雲を穿つ 首夏の天

眼下清灣遲日長 大野シゲ子

釣舟點點水洋洋 釣舟点点 水洋洋

翠巒島嶼排華色 翠巒の島嶼 華色を排し

漁戸常親潮汐香 漁戸常に親しむ 潮汐の香

卒壽述懷 屋耕夜読 典書に親しみ

老耄羞慙安靖貧 老耄羞慙 貧に安靖

淫酒富饒非我事 淫酒富饒は 我が事に非らず

初心貫徹歩吾倫 初心貫徹 吾が倫を歩む

